

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-740	16-105	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Differing association of alcohol consumption with different stroke types: a systematic review and meta-analysis. 飲酒とタイプ別脳卒中との関連：システマティックレビューとメタ解析		
<b>執筆者</b>		
Larsson SC, Wallin A, Wolk A, Markus HS.		
<b>掲載誌</b>		
BMC Med. 2016 Nov 24;14(1):178. Review.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
飲酒、メタ解析、前向き研究、脳卒中		27881167
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> 軽度から中等度の飲酒が脳卒中を予防するかどうか、あるいは飲酒と脳卒中の関連は脳卒中のタイプによって異なるかどうかについては、一定の結果が得られていない。本研究では、飲酒と脳卒中の関連を脳卒中のタイプ別(虚血性脳卒中、脳内出血、くも膜下出血)に検討した前向き研究のシステマティックレビューおよびメタ解析を行った。		
<b>方法：</b> PubMed(1966年1月から2016年9月1日まで)を用い、キーワードとして「脳卒中」、「脳血管障害」、「脳梗塞」、「脳内出血」「くも膜下出血」と「アルコール摂取」、「飲酒」、「アルコール摂取量」を組み合わせ、検索を行った。検索された研究に、スウェーデン人 73,587名を対象とした2つの前向き研究を含め、ランダム効果モデルを用いて解析した。		
<b>結果：</b> 文献検索の結果、メタ解析の対象として計27の前向き研究が抽出された(虚血性脳卒中25、脳内出血11、くも膜下出血11、重複あり)。軽度から中等度の飲酒では虚血性脳卒中リスクが低かったが、過度の飲酒では虚血性脳卒中リスクが高かった。すなわち、虚血性脳卒中の相対危険度(95%信頼区間[CI])は飲酒1日1杯以下で0.90(95%CI 0.85-0.95)、1日1-2杯で0.92(95%CI 0.87-0.97)、1日2-4杯で1.08(95%CI 1.01-1.15)、1日4杯以上で1.14(95%CI 1.02-1.28)であった。軽度から中等度の飲酒は脳出血との関連を認めなかった。一方、1日4杯以上の過度の飲酒における脳出血の相対危険度は脳内出血で1.67(95%CI 1.25-2.23)、くも膜下出血で1.82(95%CI 1.18-2.82)と有意に高かった。		
<b>結論：</b> 軽度から中等度の飲酒は虚血性脳卒中とのみ負に関連した。一方で、過度の飲酒はいずれのタイプの脳卒中とも正の関連を示し、特に脳出血とより強い関連を示した。		